

# 令和6年度「人権を確かめあうアンケート」の結果を受けて

奈良県教育委員会

## 1. 嫌な気持ちになったこと、させたことについて

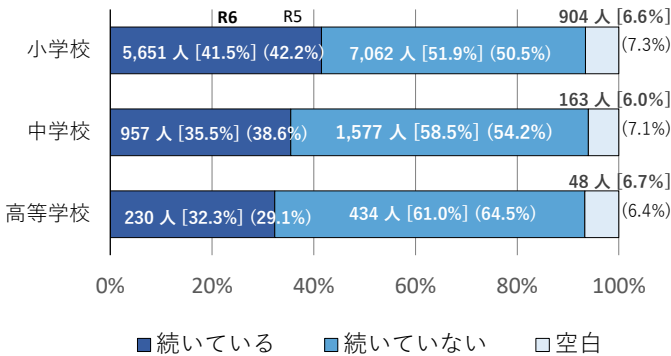
○嫌な気持ちになったことがあるか

	小学校	中学校	高等学校
ある	13,617人	2,697人	712人
ない	36,521人	21,049人	16,083人

○嫌な気持ちにさせたことがあるか

	小学校	中学校	高等学校
ある	3,799人	723人	140人
あるかもしれない	9,601人	2,913人	848人
ない	36,738人	20,110人	15,807人

○嫌な気持ちになったことの継続状況

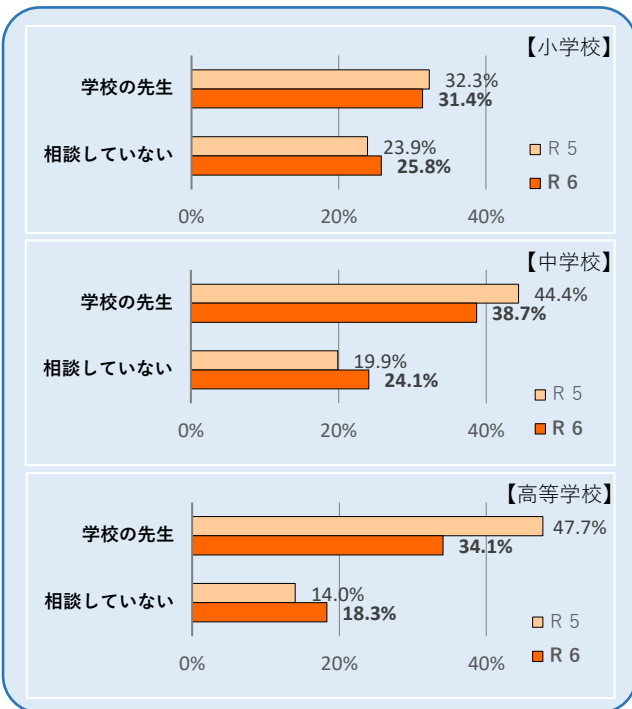


嫌な気持ちになったことの継続状況について、小学校においては約4割の児童が、また中学校・高等学校においては3割を超える生徒が解消されていなかった。（回答時点）

児童生徒自身が「自分は大切にされている」という気持ちをもつことが成長につながります。自らの大切さが認められていることを実感できるような環境づくりをお願いします。

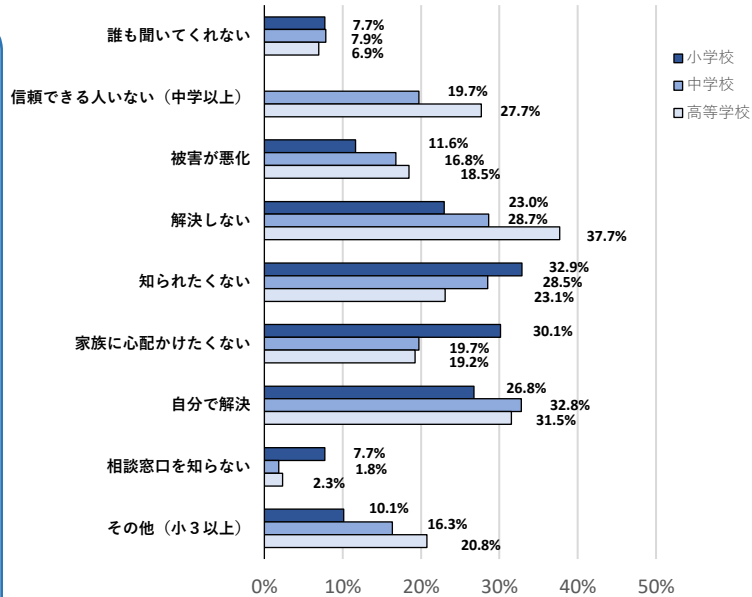
## 2. 相談の状況について

○嫌な気持ちになったことの相談先（複数回答）



※今年度より新設

○誰にも相談していないのはなぜですか。（複数回答）



誰にも相談しないと回答した児童生徒の割合は、昨年度と比較して増加傾向にある。どの校種においても、その理由に、「相談しても解決しない」「知られたくない」「家族に心配をかけたくない」「自分で解決したい」と回答した児童生徒が多くみられた。

相談できずにいる児童生徒のサインに気付けるよう複数の目で見えていくことや、他者に相談することで気持ちが楽になったり視野が広がったりするなど相談することのよさを伝えることも大切です。児童生徒と信頼関係を築きながら、相談しやすい環境づくりをお願いします。

子ども支援サイト内の「みんなのぼかぼかランド」や、警察庁Webサイト「インターネット上の誹謗中傷等への対応」では、子どもたちのための各種相談窓口を紹介しています。



子ども支援サイトへのリンク



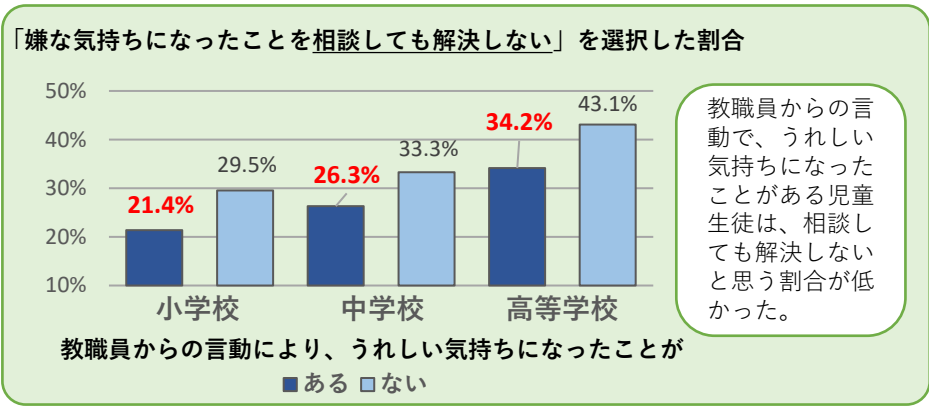
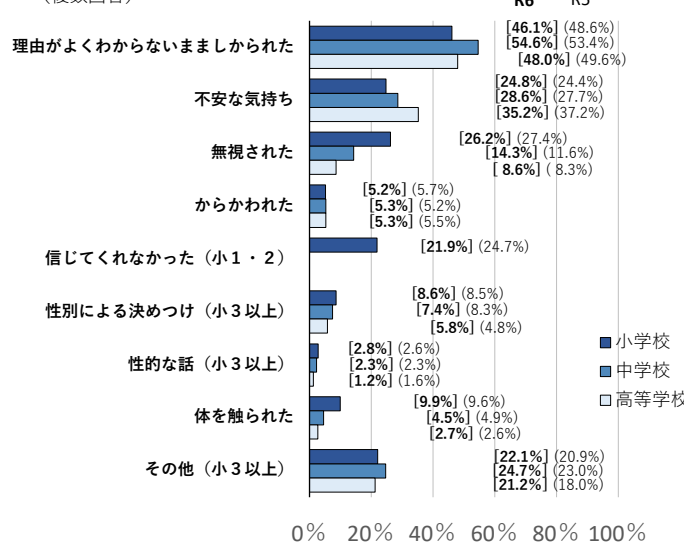
警察庁Webサイトへのリンク

### 3. 教職員と児童生徒との関わりについて

○教職員からの言動により、うれしい気持ちになったことの内容  
(複数回答)

小学校		R6	R5
1	楽しく、分かりやすい授業	28,335人 66.7%	67.6%
2	がんばったことを認めてくれた	21,168人 49.8%	49.7%
3	困っているとき、助けてくれた	18,033人 42.5%	42.5%
4	悩みを聞いたり、相談に乗ってくれた	13,923人 32.8%	32.0%
中学校		R6	R5
1	楽しく、分かりやすい授業	11,702人 65.0%	65.0%
2	がんばったことを認めてくれた	7,842人 43.5%	42.7%
3	困っているとき、助けてくれた	6,119人 34.0%	32.4%
4	悩みを聞いたり、相談に乗ってくれた	5,650人 31.4%	29.8%
高等学校		R6	R5
1	楽しく、分かりやすい授業	6,057人 53.4%	52.7%
2	がんばったことを認めてくれた	4,389人 38.7%	38.6%
3	悩みを聞いたり、相談に乗ってくれた	3,306人 29.1%	28.1%
4	困っているとき、助けてくれた	3,152人 27.8%	26.5%

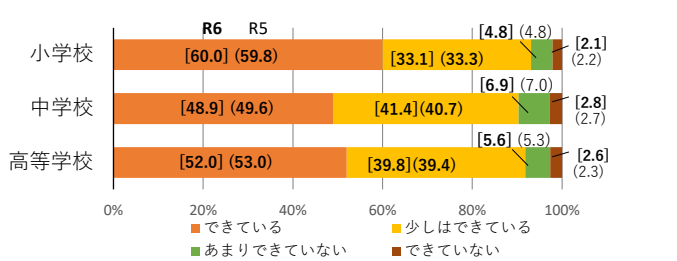
○教職員からの言動により、嫌な気持ちになったことの内容  
(複数回答)



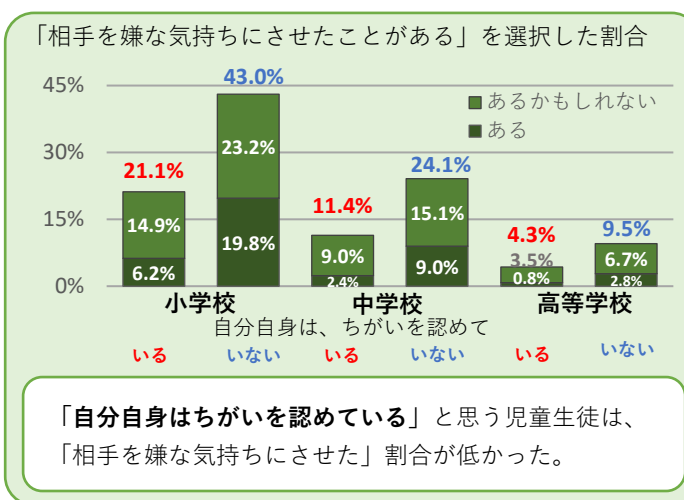
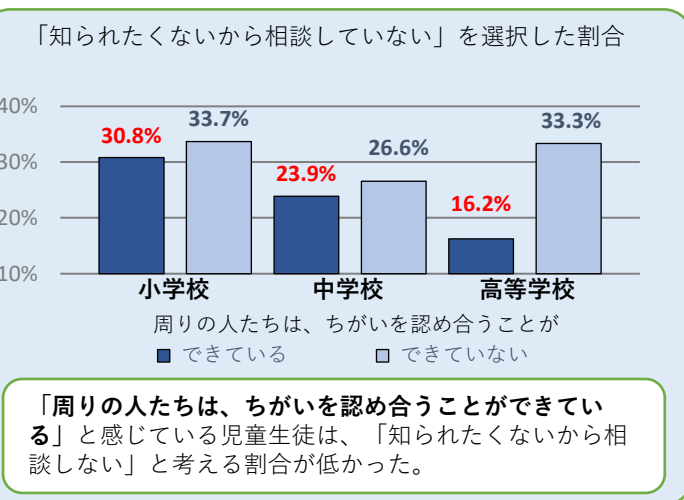
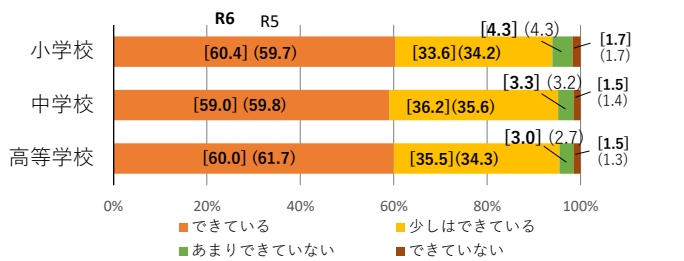
「児童の権利に関する条約 (子どもの権利条約)」や「こども基本法」の理念を踏まえ、「傾聴」や「対話」を大切に、児童生徒一人一人を深く理解できるような配慮をお願いします。

### 4. 多様性を尊重する教育について

○周りの人たちは、ちがいを認め合うことができているか



○自分は、ちがいを認めることができているか



教職員自身の人権も大切にしながら、学校やクラスが児童生徒にとって安心できる、人権が尊重された場となるよう、人権教育の推進をお願いします。